

## 平成29年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	理学研究科		カテゴリー	自然科学総合科目群			横断区分	理系横断型	
授業科目名 (英訳)	統合生物多様性論 (Advanced Lectures: Integrative Biological Diversity)			講義担当者 所属・職名・ 氏名	理学研究科・教授・ 沼田 英治 ほか13名			開講場所	北部キャンパス にて開講予定		
配当学年	修士	単位数	2単位	開講年度・開講期	前期	曜時間	金1限 (08:45-10:15)	授業形態	講義	使用言語	日本語
〔授業の概要・目的〕											
生物の多様性をミクロ生物学およびマクロ生物学の両面から論議し、また両者の統合による生物多様性の新たな理解に向けた研究の展開を論議する。											
〔研究科横断型教育の概要・目的〕											
生物を対象とした学問を学ぶ上で、生物の多様性とその中にある共通原理を理解することは重要である。本講義では、分子生物学から生態学に至る様々な分野の生物学者14名が、それぞれの専門の立場から生物多様性を語り、履修者はそれらを統合して理解する能力を修得する。それは生物学・生命科学・農学・医学・薬学など理系のさまざまな分野の共通基盤となる。											
〔到達目標〕											
生物の多様性について、いろいろな階層から見渡せる能力を身につける。											
〔授業計画と内容〕											
第1回 分子進化と生物多様性(岩部直之)											
第2回 動物の多様性と個体発生(高橋淑子)											
第3回 動物形態の多様性と骨格形成機構(船山典子)											
第4回 化石霊長類の多様性と時代変化(中務真人)											
第5回 系統分類学から読み解く動物地理(岡本 卓)											
第6回 植物の多様性と分類学(田村 実)											
第7回 植物の光応答機構(長谷あきら)											
第8回 生物時計の多様性1(小山市隆)											
第9回 生物時計の多様性2(沼田英治)											
第10回 適応と種の多様化(曾田貞滋)											
第11回 海洋ウィルスの多様性(緒方博之)											
第12回 水界微生物の多様性(程木義邦)											
第13回 化学物質を介した植物・動物相互作用(高林純示)											
第14回 生態系と生物多様性(谷内茂雄)											
第15回 フィードバック											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
絶対評価(素点)											
レポートの成績(50%)、平常点評価(50%)											
〔教科書〕											
使用しない。											
〔参考書等〕											
講義中に紹介する。											
〔授業外学修(予習・復習)等〕											
講義中に多数の参考書・参考論文を提示するので、それらに基づく予習、復習が望ましい。											
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕											
オフィスアワーは定めない。質問には随時対応する。											